

センターあづみ園放課後等デイサービス
事業所向け評価表

公表日：令和6年3月31日

尾道発達相談・療育支援センターあづみ園 放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の人数や活動に応じて使用する部屋を考慮している。 ・人数が多い日に関しては課題ごとにグループに分けるなど、適切な人数で活動出来るように配慮している。 ・スペースが足りない時には、児童発達支援のクラスを借りる等して対応している。
	②	職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・法定基準は満たしている。 ・利用児童の障害特性や状況によっては、同法人内に要請し適切に対応できるようにしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされている。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・今後必要に応じて検討をしていく。 ・玄関に段差があるものの、児童発達支援側の入口を使用することで、段差なく出入りすることが可能である。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず次の日の朝礼にて、個別の課題や活動の課題等を職員で共有している。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	100%	0%	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	40%	60%	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	100%	0%	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	100%	0%	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている。	60%	40%	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に、児童発達支援管理責任者を交えて、グループの課題に沿ったプログラムの立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の個別の課題、集団としての課題を元に活動内容を決定し、実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している。	100%	0%	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	100%	0%	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず、次の日の朝礼にて話し合いを実施している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	

	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。	100%	0%	
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている。	100%	0%	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	100%	0%	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	60%	40%	・学校によって異なる。協力体制の取れている学校からは、学校の行事や下校時刻の連携が取れている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている。	/	/	・該当する児童がいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	80%	20%	・必要に応じて、電話での連携を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	/	/	・該当する児童がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	60%	40%	・実際に支援の場に入らせてもらったりするなどの研修を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	0%	100%	・児童クラブに在籍している児童はいるが、交流は行っていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	80%	20%	・代表者が参加し、後日報告を受けている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている。	100%	0%	
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	80%	20%	・学習会を開催しており、その中で保護者の悩み等を話す機会を設けたりしている。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	100%	0%	
	㉕	個人情報に十分注意しているか。	100%	0%	
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	20%	80%	・児童の安全確保面から難しいと考える。

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。	80%	20%	・救急時の対応マニュアルを作成し周知しているが、不十分と感じることもあるため、今後改善をしていく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っている。	100%	0%	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	100%	0%	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	20%	80%	・事例集は作成していないが、気になることがある時には職員間で共有するようしており、場合によっては会議を行っている。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表日：令和6年3月31日

事業所名：尾道発達相談・療育支援センターあづみ園 放課後等デイサービス

保護者等数（児童数）36名 割合69%

※アンケートの中でいくつかの未解答欄あり。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	84%	16%	0%	0%	・外遊びができる広場があると良い	・放デイの建物の外と児童発達支援の建物の外に園庭があり、外遊びができるようになっております。時間がある時には、外に出て遊ぶこともあります。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	72%	28%	0%	0%	・保護者では判断できません。	・国の定める人員配置基準以上の配置を行っています。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	76%	20%	0%	4%	・分かりません	・現在、対象となる児童はいませんが、必要に応じて検討をしていきます。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%	0%	0%	0%		・今後も児童の皆さんや保護者の皆さまの困り感に寄り添い、解決に向けて計画を立て、実施、支援していきます。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	92%	8%	0%	0%		・児童の課題や状態などに合わせて活動の設定をしております。今後も、課題解決や児童の成長に向けて活動の工夫をしていきます。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	32%	44%	24%	0%	・そういう機会が作られているのか分からない。	・限られた時間の中で活動を行っていますので、設定することが難しいですが、ご要望があれば個別に検討をさせていただきます。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	84%	16%	0%	0%	・利用者負担の説明はなかったと思います。	・契約の際にご説明させて頂いておりますが、今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	96%	4%	0%	0%	・送迎者が担当者でない時は適切に伝えられないと感じる。	・送迎の関係で、必ずグループの担当者が対応することは難しいですが、出来る限り担当者と話が出来るようにしていきたいと思っております。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	96%	0%	4%	0%	・面談は実施されているが、助言は頂けていないと思えます。	・面談の際や日頃のやりとりの中で、適切な助言が出来るように努めていきたいと思っております。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	60%	24%	16%	0%	・他保護者と交流、連携したことはありません。	・保護者会はありませんが、学習会を通して交流が持てるようにしています。来年度も学習会を開催する予定です。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	76%	20%	0%	4%	・そのような体制があるのかが分かりません。 ・提案に対しても迅速に対応してくれた。	・苦情や相談があった際には、迅速に対応していきます。 ・苦情解決については、契約時にご説明をさせていただいており、重要事項説明書にも記載してあります。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	80%	16%	4%	0%	・送迎者が担当者でない時は適切に伝えられないと感じる。	・送迎車の台数の関係で、担当者が必ず対応できるとは限りません。しかし、可能な限りお伝え出来るようにしていきます。 ・連絡帳へ記入して頂いた際には、可能な限りその日に返答するようにしています。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	96%	4%	0%	0%		・毎月、各グループの活動報告をコドモンにて配信しております。今後もコドモンにて配信をしていきます。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	88%	12%	0%	0%		・今後も個人情報の取り扱いには十分注意してまいります。
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	84%	8%	8%	0%	・防犯マニュアルは分からないので、確認してみます。	・各種マニュアルを策定してありますが、保護者の皆さまに周知出来るように、周知の方法を考えていきます。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	80%	12%	4%	4%		・年に2回、長期休業中と平日を利用し、利用児童が必ず1回ずつ訓練に参加出来るように計画を立てて実施しております。今後は、訓練の実施状況も配信していきます。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしていますか	72%	24%	4%	0%		・児童の皆さんが「楽しい」と思える活動を設定していきます。
	⑱ 事業所の支援に満足していますか	80%	16%	4%	0%	・利用日数を増やしたい。 ・いつも子どもの話を聞かせてくれるので、出来ないと思っていたことが出来るようになったという話が聞けて嬉しいです。	・定員が決まっておりますので、定員に達している場合には難しいですが、空きがある場合には、利用日数を増やしたい旨をお知らせ頂ければ検討致します。